

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	滋賀県	市町村名	東近江市	大学名	
派遣日時	令和 7年 7月 10日 (木曜日) 15:00~16:45				
実施方法	派遣 / 遠隔 ※いずれかに○をつけてください。				
派遣場所	東近江市役所 東E会議室 (東庁舎)				
アドバイザー氏名	京都教育大学国文学科 教授 浜田 麻里 氏				
相談者 (受講者)	東近江市教育委員会事務局学校教育課 係長				
相談内容等	<p>本市では、外国とつながりのある児童生徒が、市立小中学校児童生徒数の約3%を占め、対象児童生徒の多国籍化、多言語化、広域化が進む中、在籍校数も年々増加している。日本語能力が異なる子どもたちには個別の支援が必要であり、児童生徒一人一人の学習状況を的確に把握し、きめ細やかな指導を行うためには、教職員に高い専門性が求められるが、日本語初期指導教室を中心としながら、各校手探りで取組を進めている状況である。県の加配を受けている学校の教員には、年2回、県主催の連絡協議会において研修を受けて学ぶ機会が設けられているが、通常学級担任や市の加配である非常勤講師にはそういった機会がないため、外国人児童生徒に関わる教員に対して専門的に学ぶ機会を市として設けたいとの思いから、浜田教授に講話を依頼した。</p> <p>本市には、日本語初期指導教室が2校あり、日本語初期指導を希望する児童生徒が入室し、3か月をめぐりに日本語を学んでいる。3か月たつと、在籍校に戻って学習を進めるが、子どもたちが安心して戻れるような連携についても課題の一つである。</p> <p>日本語初期指導教室から在籍校への連携の手立てについてのアイデアや、今年度改訂されたDLA検査について教えていただきたい。</p>				
派遣者からの指導助言内容	<p>「『多様な背景をもつ子どもがともに学べる授業』を目指して～連携を考える～」と題して講話いただいた。</p> <p>【講話内容】</p> <p>① 「ことばの力のものさし」について</p> <ul style="list-style-type: none">・さまざまなタイプの教育評価について (到達度評価・熟達度評価) (診断的評価・形成的評価・総括的評価) ※DLA検査は熟達度評価で、診断的評価。個別の指導計画に生かす。・「ことばの力のものさし」: やりとりや普段の姿、ノート、プリント、DLA等の評価を行うための材料。アセスメントを使って、指導力もアップする。また、DLAをすることで、気付きにくい「子どものできる姿」が見える。 <p>② 日本語指導と在籍学級での学びの連携について</p> <ul style="list-style-type: none">・先進的なシステムである、日本語初期指導教室の目的とは。・在籍校との連携は、初期指導教室期間中から行うことで、うまくつなげる。・いろはでやっておられることを在籍校で行うことで、安心につながる。				

	<p>・自校指導の場合は、日本語指導担当者と通常学級担任が連携して、計画と評価を行う。</p> <p>③ 在籍学級での学びにつながる日本語指導</p> <p>1 日本語基礎 ： 普段の生活に関わる内容で行う。ルールを通して日本語を学ぶ。</p> <p>2 内容と日本語の統合学習 ： 学習活動に参加できるようにするために、概念を学ぶ。予習として。 参加できる場面を精選して、単なる参加ではなく、どんな形なら参加可能か検討する。 学習内容、学習方法の検討。(例：モデルを示す、ゲームとして繰り返す)</p> <p>3 在籍学級での工夫 ： 理解支援、表現支援、記憶支援の直接支援 自律支援、情意支援の間接支援</p> <p>④ 活動・演習 ・ペアになって、対象児童を設定し、1時間分の指導計画を考える。</p>
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>昨年度もご指導いただいた浜田先生に、今年度も大変わかりやすく、具体的な事例や指導方法を教えていただき、明日からの授業に生かせる学びの場となった。先生には、打ち合わせの段階から、本市の課題に対する内容とさまざまな立場の受講者が学びたい内容に対して、どのような構成・内容ならよいか的確に指示をいただき、時間いっぱい教えていただいた。日本語指導だけでなく、通常学級の指導にも通ずる部分があると感じ、決して特別なことではなく、子どもたちにつけたい力に対してどんな手立てができるのか、教師が目の前の一人一人の子どもたちに向き合うことの大切さを再認識した。また、参加者からは、「今回初めて知る事が多く、教えていただいたことを授業に生かしたい」や「最新のことをわかりやすく教えていただき、一層頑張らねばと思った」などの感想が見られ、明日へのやる気をいただいた内容であった。</p> <p>次回の研修では、今回、浜田先生から教えていただいた視点を取り入れた日本語指導教室での授業を公開・参観し、実践から学ぶ研修会を行いたい。</p>

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。